

令和5年度学校関係者評価結果

1 実施日時 令和6年2月29日 11:50~12:40

2 評議員会参加者 4名(2名欠席のため、書面回答)

3 評価基準と評価結果

A:良くできている B:ほぼできている

C:あまりできていない D:全くできていない

評価	A	B	C	D
(1) 学校評価	6名			
(2) 教育課程	4名	2名		
(3) 課題教育	5名	1名		
(4) 総合	6名			

4 学校評議員コメント

・1月28日の第43回青少年育成市民大会で相生高校生4名がボランティアで活躍した。他の高校生も6名、手伝いをしていただく予定だったが、校内でのインフルエンザの流行により、直前の金曜日に急遽参加できなくなったことが判明し、当日は相高生4名でしっかりとカバーし、無事に大会を終了することができた。

司会は本来2人で分担する予定だったが、岩本君には一人ですべてを担当してもらった。生徒は笑顔で元気よく、登壇される来賓や市長などの主催者代表の方々を出迎え、気持ちのよい雰囲気で大大会を始めることができた。

(参加者の感想から)「高校生の方がお手伝いされていることを知り、とても良い活動だと思いました」「相高生の司会等、さわやかでよかったです。彼らもいろいろ学んだと思います」「司会はしっかりしていて聞き取りやすかった」また、岩本君からも「司会ができ、とても良い経験ができました」との感想をもらっている。来年の大会も高校生の派遣をお願いしたい。

・全体を通して相高への満足度が高く評価できる。親の評価は元々高いが、生徒が入学時より卒業時の方が高くなっているのは、教員、学校の努力の賜物。

教育課程で唯一60%台があったが、授業はどうしても個に陥りやすいもの。教員互いの連携、研修願えればと思う。

施設、設備面で1年次が60%だが、50周年を迎え、老朽化もあろうかと考える。

・20周年を迎えたころ(約30年前)は、相高はセブンイレブンと言われ、生徒は7時に学校に来て、教員は11時でも残っていた。そのころから、「生徒も先生も頑張る」という風土が今に至るまで根付いている。

・今は、勉強だけでなく、お寺でライブ等の地域への貢献もし、活性化を図ってもらいたい。

・私は1期生だが、そのころの相高とは様子が違っている。先生と生徒、生徒間のつながりを感じる。卒業式でも、卒業生は自然と入退場の間隔を調整し、周囲の状況を判断して行動できている。生徒もしらけた雰囲気がなく、とても健全な印象を受けている。

・相生駅に向かうときに、歩道橋いっぱい生徒が広がっている。挨拶もしてくれる生徒もいるが、より多くの生徒ができるようになって欲しい。

・生徒は落ち着いていると思う。

・保護者の間でも、相高の評判は上がってきている。進路結果、進学率等で人気が出ている。

生徒も自分で勉強できる雰囲気があると思う。姫路から距離も近く、通いやすい学校である。